



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.40
Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2007.秋・冬

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。

第28回企画展

鳥たちの世界 — その秘密にせまる —

2007 9.29(土)～11.25(日)



写真:菅根 正夫

鳥は身近な存在であり、また人が住めないような極寒の極地から焼けつく砂漠に至るまで様々な環境に適応しています。鳥のからだのつくり、食性とくちばしの形、卵と子育て、進化競争を繰り広げるカッコウとオナガの闘いやジュウイチのヒナのえさ請い戦略などを展示し、その秘密にせまります。

またデジタルスコープを利用した写真館や世界の鳥の巣や絵本の原画などのコーナーも設けました。

さらに絶滅寸前のアホウドリを鳥島で復活させた道のりと新繁殖地の形成や、群馬県内での渡りの調査や保護活動を紹介し、人と自然環境、鳥たちの今後のあり方について考える機会も提供したいと思います。

(学芸グループ 高橋 克之)

🐦 企画展記念イベント 🐦

(1) 自然教室「デジスコで野鳥撮影を楽しもう」

日 時:9月30日(日) 13:00～16:00

講 師:石丸善晴・大島志のぶ

(2) 講演会「アホウドリ:再生への羽ばたき」

日 時:10月21日(日) 13:30～15:30

講 師:東邦大学理学部教授 長谷川 博

(3) 自然教室「博物館周辺の探鳥会」

日 時:11月11日(日) 10:30～12:00

講 師:(財)日本野鳥の会群馬県支部

(4) 自然教室「鳥の巣箱をつくろう」

日 時:11月11日(日) 13:00～15:00

講 師:(財)日本野鳥の会群馬県支部

(5) 講演会「子育てをしない鳥・カッコウの生態」

日 時:11月18日(日) 13:30～15:30

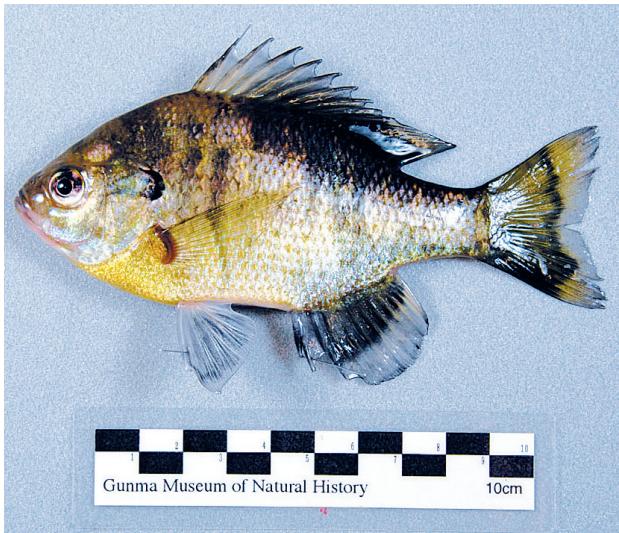
講 師:信州大学教育学部教授 中村 浩志

移入生物とは、もともと分布していなかった地域へ人間活動により、ほかの地域から持ち込まれた生物で、人間によって管理されていないものをさします。また、害虫のように、何かにまぎれて侵入した生物も含まれます。

当館では、館の調査として富岡地域に多数ある溜池や河川について、魚類や貝類を中心に移入生物調査を行ってきました。その結果、多くの溜池には、ブラックバス（オオクチバス）やブルーギルといったゲームフィッシングの対象となる魚類が生息していることがわかってきました。



ブラックバス(オオクチバス)



ブルーギル

また、カワヒバリガイという二枚貝がいくつかの地点で確認できています。群馬県内では2005年12月、富岡・大塩湖からの導水管内に大発生しているのが見つかり、翌年、駆除作業を行ったことが報道されましたので、覚えている方も多いと思います。

カワヒバリガイは、イガイ目イガイ科に属する貝で、原産は中国中南部、香港、台湾、韓国、タイ北部です。



大塩湖導水管内部に付着したカワヒバリガイ

この貝は2年ほどで2~3cmに成長します。ムール貝に似ていますが食べられません。また、暗いところが好きなので、足糸と呼ばれる糸を出して石やコンクリートなど固い物の陰に付着します。今のところ、人間に対して直接被害を及ぼすことはないようですが、コイ科の魚類に寄生して衰弱させる腹口類吸虫の中間宿主になることが知られており、心配されています。

館の調査では、大塩湖以外でもカワヒバリガイが確認されました。



甘楽町の水路に生息するカワヒバリガイ

館の調査ではありませんが、前橋市の赤城白川でコモチカツボというカワニナによく似た巻貝の発見が報告されています。この貝も、最近神奈川県で大発生し、問題となっている移入種です。

移入種の多くは、いったん大発生すると人間の手でコントロールすることは、かなり困難になってしまいます。移入種問題は、すべて人間の過ちによるものです。この深刻な問題に早急に対処しなければ、日本の自然は大変なことになってしまいます。

(学芸グループ 野村 正弘)

解説ボランティアの活動と募集のお知らせ

皆さんは、展示室内で、明るい黄緑色のスタッフジャンパーを着た解説ボランティアの方々の説明を聞いたことがあるでしょうか？開館した翌年の平成9年から活動をはじめ、今年度は25の方が解説ボランティアとして登録し、来館された皆さんに展示物についての解説を行っています。

どのような人が解説ボランティアになっているかというと、退職された方や主婦の方、高校生や会社に勤めている方等、年齢や職業は様々です。また、専門的な知識についても様々です。科学に関係した職業に就いていた方もいますが、ボランティア研修や、その後、各自で学習してだんだんと知識を広げられている方もいます。ただ、解説ボランティアの皆さんに共通していることがあります。それは、動植物や化石など自然に興味があること、そして、自分の生活をより充実させたいと考えていることです。



展示室で説明をする解説ボランティア

ボランティアの活動は、土日を中心に毎月1・2回程度行っています。しかし、今までは展示室で他の解説ボランティアに会うことはめったにないというのが現状でした。来館された皆さんに解説をして喜んでもらえることが一番の励み、やりがいになるのですが、いつも一人きりでの活動では、強い信念がないとなかなか続けられません。

そこで、昨年度より解説ボランティアの皆さんの交流の場として「解説ボランティア定例会」を設けるようにしました。博物館に集まる日を決め、お互いに研修をしたり、情報交換を行ったりしています。



解説ボランティア定例会での研修

博物館に来て、展示室で明るい黄緑色のスタッフジャンパーを見かけたら、ぜひ、お気軽に声をかけてください。展示物についてわかりやすく解説してくれるので、博物館をより一層楽しむことができると思います。

・・・解説ボランティア募集のお知らせ・・・

今年度は、下記の通り解説ボランティアの募集を行います。興味のある方は、実際に活動しているボランティアの方々の様子をご覧ください。展示物だけでなく、ボランティアについての質問をしても親切に答えていただけます。

募集人数

15人(先着順)

群馬県立自然史博物館

Demeter

資格・条件

- ★高校生以上で、動植物・化石や岩石等の自然に関心があり、月1～2回程度、博物館で活動できる方
- ★下記の事前研修会に参加して学習できる方

応募方法

はがきまたはファックスに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入して、博物館までお申し込みください。後日、研修会の詳しい内容をご連絡します。

申し込み期間

平成19年8月14日(火)～9月15日(土)

事前研修会

9/23・10/13・11/4・11/25・12/9・1/12・1/20・2/10の8回予定。各回2時間(6回以上参加)

報酬・その他

ボランティア活動に対しての報酬・交通費・昼食代等は支給できませんのでご了承ください。

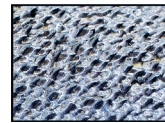
(総務普及グループ 上原 久志)

収蔵資料より ユメザメ

黒いからだにぎょろりとした大きな眼、体の表面は無数の棘とげのようなもので覆われています。この不気味な魚はユメザメという深海性のサメです。体の表面を覆う“棘”は楯鱗じゆんりんとよばれる小さな構造が並んだものです。サメによって楯鱗の形は様々ですが、ユメザメの楯鱗は写真のように中央がくぼんでいて、縁が鋭くとがっています。そのため棘のようにみえるのです。

ユメザメは現在、日本では駿河湾や沖縄などで生息が確認されています。群馬県でも約1500万年前の

地層からユメザメの仲間の化石が見つかっています。
(学芸グループ 木村 敏之)



ユメザメの楯鱗



ユメザメのはく製

インフォメーション (10月~1月の予定)

第28回 企画展「鳥たちの世界~その秘密にせまる~」 2007年 9月29日(土)~11月25日(日)

- 凡例
- ☎ 電話で申し込み
 - 📄 往復ハガキで申し込み
 - 👤 当日会場で申し込み

10月 7日(日) ファミリー自然観察会「きのこの観察」
 21日(日) 企画展記念講演会「アホウドリ:再生への羽ばたき」
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「鳥の鳴きまね笛をつくろう」



11月 4日(日) バックヤードツアー
 10・17・24日(土) ミュージアムナイトツアー
 11日(日) 企画展記念自然教室 ①「博物館周辺の探鳥会」
 ②「鳥の巣箱をつくろう」
 18日(日) 企画展記念講演会「子育てをしない鳥・カッコウの生態」
 21日(水)・22日(木) 移動博物館(会場:みどり市立大間々東小学校)
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「アホウドリ型グライダーをつくろう」

休館日

○印の日は休館いたします。

10月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	8	⑨	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	22	23	24	25	26
27	28	⑳	30	31

12月 15日(土) 天体観望会
 23日(日)~31日(月) メンテナンス・年末休館
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「牛乳パックでクリスマスカードや年賀状をつくろう」

11月

日	月	火	水	木	金	土
...	1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	⑳	27	28	29	30	...

1月 1日(火)~3日(木) 年始休館
 21日(月)~25日(金) 資料整理休館
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「からくりカレンダーをつくろう」

12月

日	月	火	水	木	金	土
...	1	2
3	④	5	6	7	8	9
10	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑱	24	25	26	27	28
29	⑳	30	31

利用案内

■開館時間 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:30まで)
 ■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
 ■観覧料

	一般	高校・大学生
常設展のみ開催期間	500円	300円
企画展開催期間	700円	400円

※中学生以下、身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその介護者1名は無料
 ※有料者20名以上は団体料金で2割引となります

1月

日	月	火	水	木	金	土
...	...	①	②	③	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	⑰	22	23	24	25	26
27	⑱	29	30	31